

萱瀨☆物語

大村市立萱瀨小学校

学校だより 第51号

令和6年 4月15日発行 校長 高以良康弘

「やさしく」「かしこく」「たくましく」

祝 入学式！

4月10日（水）、新入生15名が入学してきました。温かく、和やかな雰囲気の中で、入学式を行うことができました。

6年生に手を引かれ、一人一人が笑顔で入場し、担任の先生に名前を呼ばれると、みんな「はい！」というかわいい返事が返ってきました。

この返事のように、これからの毎日の学校生活を通して、子どもたちは、できることを一つずつ増やしていきます。この成長を見逃すことなく、大人みんなが応援していきたいと思います。入学式に参加した在校生の姿も立派でした。

6年生の女子児童や2年生による歓迎の言葉、在校生による弾む心を声いっばいに表現できた歓迎の歌で、萱瀨小学校全体がお祝いムードに包まれました。さらには、式中の一人ひとりの凛とした態度等が印象的でした。素晴らしい入学式ができたのは、児童と教職員、そして家族の皆さんが、それぞれの立場で、新入生のこと、学校のことを思い参加してくださったからこそだと思います。令和6年度の萱瀨小学校は、皆さんの協力を支えにスタートしました。



『入学式で話をさせていただいたこと』

『……………萱瀨小学校を楽しい学校にするために、一年生の皆さんにがんばってほしいことが三つあります。一つ目が「元気なあいさつ」です。自分から進んで「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」等とあいさつをしてください。二つ目は、「ありがとう」という言葉です。助けてもらったときに「ありがとう」遊びに誘ってもらった時に、「ありがとう」と言えればもっともっと楽しくなります。逆に友達とけんかをしてしまったときに、悪いことをしてしまったときに、すなおに「ごめんなさい」と言うことです。誰かが助けてくれます。仲直りをする勇気が出ます。三つ目は、学校の合い言葉「やさしさ 夢 げん気」を覚えましょう。やさしさを育てるために友達と仲よくしましょう。夢をかなえるために勉強しましょう。元気になるために早寝・早起き・朝ご飯を続けましょう。…』



子どもたちが悩んだり悲しい思いをしたりしたときに、何とか子どもの力で乗り越えられそうなときは、そっと後ろから見守りたいと思うのです。学校教育の一番の特徴は集団生活にあります。子どもたちは、遊んだり、けんかしたり、立ち止まったり、悩んだりしながら、がまんすることや相手の気持ちを思いやることを学んでいきます。ご家庭や地域の知恵に、学校の思いを重ねながら、子どもたちが安全に安心して学べる教育環境づくりに共に努めてまいりたいと思います。



授業参観・PTA総会・学級懇談会のお知らせ

19日（金）に開催予定です。多数のご参観をお待ちしております。

○授業参観 13：10～13：55

○PTA 総会 14：10～14：40

○学級懇談会 低学年 14：50～15：15

高学年 15：20～15：45

特支学級 15：50～16：15